

■特別課題研究

<研究開発振興費>

【陶磁器用蓄光高級加飾釉薬開発事業費】

陶磁器用蓄光高級加飾釉薬の開発(1/1)

陶磁器用蓄光高級加飾釉薬の開発(1/1)

(担当) 瀬戸窯業技術センター [倉地辰幸、長谷川恵子]

(内容) 陶磁器業界では日本独自技術と高級感を備えた輸出陶磁器を模索している。当センターでは、昨年、光るセラミックス素地としてルミセラクレイを開発した。ヨーロッパ磁器によく見られるビーディングやジュールのような点盛り上げ技法は、個々の点描が金や宝石のような輝きを見せるが、これは光の反射によるものである。本研究では、これを蓄光顔料によって自発光させる蓄光釉薬として利用可能できるように、釉層の黒化とひび割れを防ぎ、厚塗り等の条件について検討することにより他の陶磁器産地にはない特徴的な製品開発を目指す。

■経常研究

東三河・奥三河の民俗観光関連製品の開発(2/2)

奥三河の地域資源「花祭」の観光市場向け土産品開発(1/1)

(担当) 瀬戸窯業技術センター [長谷川恵子]

地域資源を活用したセシウム除去材料の開発(1/2)

地域資源を活用したセシウム吸着技術の開発(1/1)

(担当) 瀬戸窯業技術センター [伊藤賢次]